

環境会計

環境活動に要した費用やその効果を正確に把握することで経営に活かしています。

環境会計の考え方

企業の環境活動に要した費用やその効果を把握し、経営に活かすためのツールが「環境会計」です。当社グループは、企業活動のうち環境保全活動にかかわるコストを定量的に把握し、企業活動の指針として活用するために、「環境会計」制度を導入しています。

「環境会計」制度導入の5年目に当たる2003年度は、環境活動に要した設備投資額および費用額の集計精度などを、よりいっそう向上させるように努めました。これからさらに、環境保全活動に継続性を持たせていく方針です。

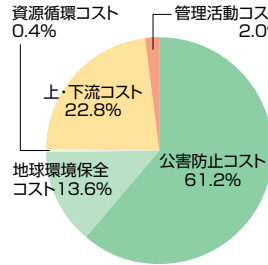
なお、環境会計は『環境会計ガイドライン(2002年版)』や『環境会計ガイドブックⅡ』(環境省)に準拠しています。

環境保全コスト

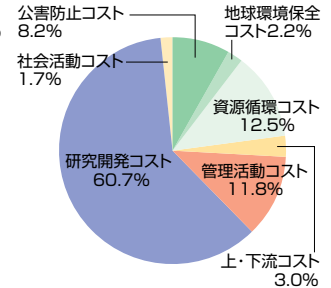
2003年度における、環境保全コスト(投資と経費)は下表の通りです。

集計対象は、当社グループの国内事業所で、設備投資の減価償却費については、1999年度に設備投資したもものから集計しています。

■投資額の内訳



■経費額の内訳



■2003年度環境保全コスト

集計範囲:東京エレクトロングループ国内全事業所(札幌、東北、宮城、赤坂、府中、横浜、相模、穂坂、藤井、尼崎、大阪、佐賀、熊本、合志、大津)
集計期間:2003年4月1日~2004年3月31日

(千円)

環境保全コストの分類	主な取り組みの内容 (設備、備品、リース、償却、維持管理、等)	投資額	経費合計
1. 事業エリア内コスト		104,012	683,504
内訳			
1.1 公害防止コスト	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染防止など	84,609	246,112
1.2 地球環境保全コスト	温暖化防止、オゾン層保護など	18,820	64,945
1.3 資源循環コスト	資源の効率的利用、廃棄物減量化など	583	372,447
2. 上・下流コスト	グリーン購入、グリーン調達など	31,575	88,606
3. 管理活動コスト	環境教育、環境負荷の監視・測定など	2,770	350,993
4. 研究開発コスト	製品の研究開発など	0	1,812,572
5. 社会活動コスト	緑化、地域の環境活動支援、情報開示など	0	50,440
6. 環境損傷コスト	自然破壊の修復など	0	102
7. その他のコスト	その他	0	0
合計		138,357	2,986,217

環境保全対策に伴う経済効果

環境保全対策に伴う経済効果の集計結果は、下表に示した通りです。

本報告書の環境会計の項目としては、「環境保全対策に伴う経済効果」のみを公表しております。

■2003年度環境保全対策に伴う経済効果

集計範囲:東京エレクトロングループ国内全事業所(札幌、東北、宮城、赤坂、府中、横浜、相模、穂坂、藤井、尼崎、大阪、佐賀、熊本、合志、大津)
集計期間:2003年4月1日~2004年3月31日

(千円)

環境保全コストの分類	内容	金額	
費用削減	電力およびその他のエネルギーについての効果	電力の使用量の削減	78,613
	水についての効果	水の使用量の削減	7,330
	紙についての効果	紙の使用量の削減	9,095
	各種資源についての効果	重油使用量の削減	-1,066
	その他についての効果		10,893
	廃棄物に関する効果	廃棄物処理量の削減	103,494
	水域および土壌への排出に関する効果	廃棄物処理量の削減	1,398
費用削減合計		209,757	
収益	各種資源についての効果		53
	廃棄物に関する効果		3,421
収益合計		3,474	
合計		213,232	